

流域単位の里山保全と体制づくり

活動地域 愛媛県



里山見守り隊活動 薪小屋作り

里山見守り隊参加者 **265**人

耕作放棄地モデル化 **60**a

今年度計画の達成度 **100**%

目標達成度 **100**%

ひろげる助成

3年目

実践

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

ご多分に漏れず、新型コロナウイルス対応をどうするかで苦労した。地元参加者と地域外参加者が互いに不安を持ちながらの活動は、当初ぎこちないものになった。

■ 工夫した点

地元参加者と地域外参加者の活動場所を違える、昼食の提供見送りなどの対応をした。里山保全だより、メール、当法人スタッフの仲介などでいつもより密な情報交換を行った。

課題

当地区は平成30年西日本豪雨に被災。被害拡大の要因に耕作放棄地があげられる。遅々として進まない復興活動に住民から不安の声があり、里山保全の意識が高まっている。

目標

支流単位で里山見守り隊を結成し住民による里山保全を行う。耕作放棄地削減の取組み、環境保全、生物多様性の啓発を行い持続可能な里山モデルを構築する。

活動内容と成果

- 里山見守り隊活動は当初の計画を上回り、年4回の予定が8回実施。高校生による保全活動8回を加え、全16回の活動を行った
- 耕作放棄地を整備した里山見守り隊基地、こども果樹園、こどもヤギ園等は、地域の保育園、幼稚園、子育て支援団体などの体験活動に活用。またモデル農園の収穫物（もち麦、小麦）は体験活動で使用するほか、西予市ふるさと納税特産品として販売。自然商品店、カフェなどからも問い合わせが来るようになった
- 保全活動で集めた落ち葉を使った堆肥や麦わらを地区の方々に無償で運搬提供した



モデル農園で収穫した小麦でパン作り体験



高校生による展望台作り

全助成期間の活動を振り返って

初年度から地元住民の理解が得られ活動はスムーズに広がった。1年目に目標であった里山見守り隊を組織し、3か年で34回の保全活動を実施。里山保全への意識の高さを確認した。地元見守り隊員から次々に作業の要望が出され活発なコミュニティができています。耕作放棄地の利用も予定通り150a以上の整備が終わり、モデル農園、こども果樹園、こどもヤギ園、里山の基地として体験学習や幼稚園の遠足等にも活用されている。

〒797-0010
愛媛県西予市宇和町明間1766番地
電話：0894-67-0056
E-mail：kokuoumail@gmail.com
HP：http://www.pikara.ne.jp/donguri-oukoku/



今後の
展望

宿泊施設の整備を継続して行い、高校生、大学生を含め若い世代（後継者）の育成に力を入れたい。また継続するための資金源として里山からでる木材を利用した薪、炭、堆肥、モデル農園で生産する小麦、野菜等の商品化を進め、販売ルートの確保をしていきたい。